

令和6年2月吉日

保護者の皆様

豊田市立萩野小学校

校長 玉腰 司

保護者アンケートの結果について（お知らせ）

立春の候、保護者の皆様におかれましてはご健勝のことと拝察いたします。日ごろは、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、昨年11月に実施させていただいた保護者アンケートの結果について、お知らせいたします。各家庭から、本校の教育活動に対する貴重なご意見をいただきました。これらのご意見は、共通理解のもと今後の教育活動に生かしていくため、全職員で検討しました。また、学校運営協議会委員の方々にもご覧いただき、ご助言をいただきました。

今年度も、これまでの反省のもと、子どもたちの幸せと成長を願い、全職員が一丸となって教育活動を展開してまいりました。一年間、我々教職員が思い切って教育活動に取り組むことができたのは、ひとえに保護者の皆様の多大なご理解、ご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

このお知らせでは、ほぼ全てのご意見を原文のまま記載しました。一つのご意見に対しては、必ず別の観点からのご意見があります。学校としては、バランスを考えながら教育活動を進めていることをご理解ください。また、必要に応じて学校の方針や対応策を添えました。

今後も、学校、家庭、地域が共働して、萩野小学校児童の健全育成にまい進できるよう努めていきたいと思っております。

今後とも、より一層のご理解とご支援を、よろしくお願い申し上げます。

保護者アンケートのご意見とその回答

1 生活面についてのご意見

- ・ **帰りが暗い日。学童を通っている等でいつもより人数が減ってしまった日や風邪などで欠席し帰りの人数が少ない日など不審者に遭遇しないように気を配っていただけると助かります。**

学校では定期的に地域コーディネーターに来校していただき、どのような学校支援や地域連携ができるのか協議する場を設けています。今年度、二タ宮・竜岡方面からの交通ボランティアがいないことが話題となり、回覧という形で交通ボランティアの募集について載せた共働本部たよりを全戸に配付させていただきました。さらに、9月22日（金）付の学校ホームページにも見守り可能な日と時間帯で、地域でボランティアをしていただける方々の募集もしてまいりました。現在のところ、応募者がおりませんが、今後もボランティア募集を継続していきます。

2 学校の情報提供や情報発信について

- ・ **学級通信を月1回でもいいので、写真付きで出してほしい。子どもの学校での様子を残しておきたい。ホームページでは画像が粗くわかりづらいので。**

学級通信を配付するペースは担任の裁量に任せていますが、配付する前には必ず、校長・教頭・教務主任が誤字脱字・紙面のレイアウト等を校閲した後、配付しています。写真やイラスト等を載せた見やすい紙面づくりをこれまで以上に目指してまいります。貴重なご意見ありがとうございました。

不足する部分については、学校から出されている行事案内やホームページをご覧ください。不明な点があれば、遠慮せずに学校へ問い合わせてください。今後も定期的に学級からお便りを発行していきますので、ホームページと併せてご覧ください。学校の様子は、お子さんから直接お話を聞いていただけると、親子のコミュニケーションもより深まるのではないかと思います。

3 学校行事について

- ・ **学芸会的なことをやってほしい。ランチルームで出来る程度でいいので。**

2月3日（土）の学校公開日は、学芸会を学習発表会という形に変更し、日頃の学習の成果を発表する場として位置付け、実施しました。子どもたちに役割と活躍の場が与えられ、発表を通して成長した姿を感じ取っていただけたと考えます。今年度からの取組のため、課題もあると思うので、今後も忌憚のないご意見をお聞かせいただき、学習発表会をよりよいものにしたいと考えます。

（文責 教頭）

◇保護者アンケートと学校自己評価の結果のお知らせ

アンケートへのご協力をいただき、ありがとうございました。結果をまとめましたので、教職員の行った学校自己評価の結果とあわせてお知らせします。

○良いと感じている点

<保護者アンケートから>

- ・ P T A 活動並びに、学校公開日や学校行事等に積極的に参加している。
- ・ 特色のある教育活動（醤油、米づくり、三角山登山等）が実施されている。
- ・ 地域の特色を生かした学校活動を行うことで、学校や地域への理解が深まっている。
- ・ 豊かな人間性を育み、心身ともに健康な生活が送れるように指導されている。

<学校自己評価から>

- ・ 特色ある学校づくり推進事業が子どもの教育活動に効果的であるとともに、スポーツフェスティバル等の学校行事の計画や成果が広く理解されている。
- ・ 地域学校共働本部と連携し、多様な教育活動の充実が図られている。
- ・ 学校全体で多忙化解消が進められている。

△努力が必要と感じている点

<保護者アンケートから>

- ・ 子どもの基礎学力向上について心配している。
- ・ 児童が安全に登下校できる通学路の整備を要望している。

<学校自己評価から>

- ・ I C T 機器（タブレット等）の活用能力を高めることに関して、十分な指導ができていない。

上記のご意見や学校自己評価の結果を踏まえて

- 良い評価をいただいた点については、来年度も継続して取り組んでいきます。
- 特色ある学校づくりの取組については、スポーツフェスティバルのような学校行事と地域の行事を併せて行うことで、地域とのつながりがより強くなり、学校・家庭・地域一体型の学校運営を円滑に行うことができました。今後も、少子化、実家庭数の減少を補うべく地域の力を最大限に生かした学校運営を継続していきます。
- I C T 機器を積極的に活用できるよう、教員が学びあい、どの子でも「授業が楽しい」と思えるよう、指導方法や教材の工夫をします。
- 学校や地域で子どもを守り育てられるよう、地域学校共働本部と連携した通学路の安全指導を行います。